

わたしたちのセブルール

川口東小学校保護者／旗当番

誰しも、自分に課しているルールがある。

旗当番は、わが子が川口東小学校を卒業するまでに5回(時に6回)しかないイベント。

登校する様子を見ることができる、貴重な機会でもある。

いかにして安全に子どもたちを学校に向かわせるか・・・



RULE1 集合時間より、少し早く行ってみる

旗当番は7:40～8:00までとなっている。

集合場所によって違いはあるが、意外と早く到着している子どももいるようだ。

保護者(あなた)がいると安心だろう。



RULE2 スタンドから旗を取り出す

旗振り場所に着いたら周囲を探してみる。

スタンド(細い筒)の中に、あなたに振ってもらえることを待っている旗があるはず。

事前に確認しておくこともおススメ。

← 「おお、これか」



RULE3 広い道は車が多いので注意する

登校班の集合場所を目指して、いろんな路地から子どもたちが出てくる。

そのつもりで周囲に目をやる。

← 背中に目がある保護者もいる(笑)



RULE4 止めるのは、車ではなく子ども

同じタイミングで交差点に来そう・・・という時は子どものほうに声をかけてストップさせる。

道路のお向かいから「今は渡っちゃダメ！」と必死に伝えることもある。

車の前に立ちただかる必要はない。

そんなの怖い。



RULE5 気を引き締めるエリアと心得る

通学路には季節・天候によって子どもたちが心奪われるものが多い。

増水した用水路(そりゃ大人でも気になる)、ザリガニが住む側溝(大人も昔は捕ってた)、田んぼや畑(稲・野菜が育ってる♪)など。

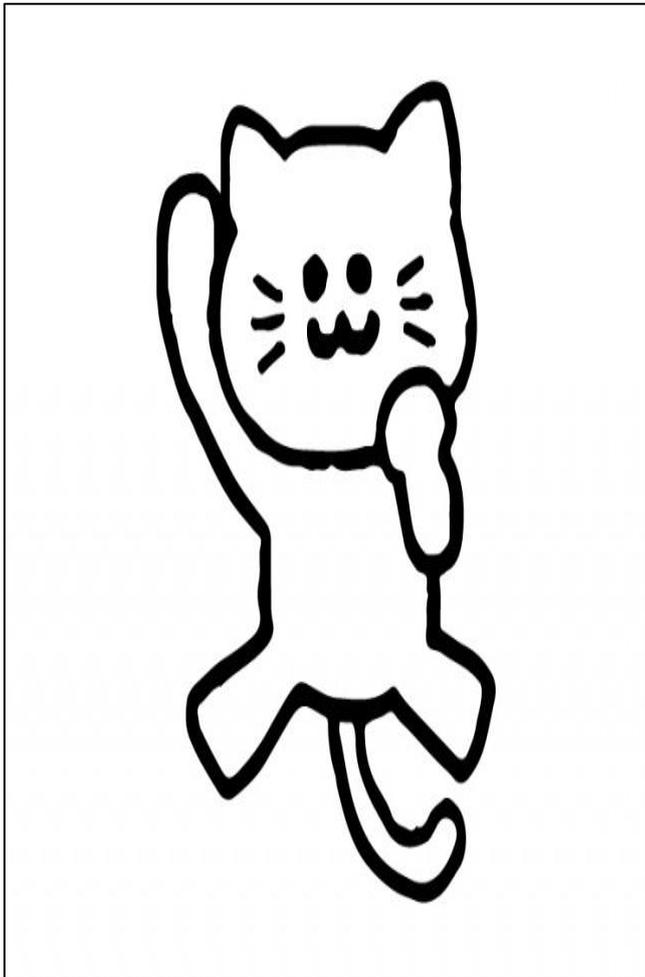
子どもは想定外の動きをすることがあるため、気を引き締める。



RULE6 「郵便局」を制する者は旗当番を制す

登校班によっては通らない班もあるだろうが、子どもたちは黄色のラインを通るように決められている。見ての通り、道路を何本も横断しなくてはならない。

幸か不幸か、ここの担当になり子どもたちを安全に通過させた保護者(あなた)は”旗当番を制した”と自慢していい。



RULE7 やりきった自分を褒める

子どもたちが学校に向かうの見届けて
旗当番は終了。旗はスタンドに戻しておく。
これから仕事に行く人も、そうでない人も、
やりきった自分をしっかり褒める。

← こんな感じでガッツポーズしてもよい
「やったー！無事に終わったー！やりきった
自分はえらいぞー！！」
そして、参加率向上につながったと微笑む。

「旗当番ってどうやるの？」「教えてもらってないからわからない」「自分にできるか不安」

「忙しいから無理」 これらがみなさまの本音かと思います。

そんな気持ちに少しでも変化があればいいなどの思いで、こちらを作成してみました。

夏休みが終わりますと、9月より旗当番も再開いたします。

いまいちど、「愛の一声運動」と書かれた書類にてご自身が担当される日にちと場所を
ご確認ください。参加へのご協力、よろしくお願い申し上げます。

なお個人情報を含みますので、関係者以外に見せたり SNS への流出行為はおやめください。

2021年8月